

こどもの便秘

姫路赤十字病院 小児外科

* こどもの便秘とは？

便秘とは、便が長い時間出ないか、出にくい状態のことで、週に2回以下、または5日以上出ない日が続けば便秘と考えます。毎日出ていても、出す時に痛がったり、肛門がきれて血が出るような場合も便秘です。便が溜まりすぎると、少量の便が頻繁に漏れ出るようになります。ですから、コロコロ便や、ねっとりした便が少しずつ、1日に何回も出る場合も便秘の疑いがあります。また、排便を我慢する姿勢（足をつっぱる、クロスさせる）や、トイレがつまるくらい大きな便、とても臭い便も、便秘を疑う症状です。



* こどもの便秘の原因は？

離乳食など食事内容の変化や生活環境の変化、アレルギー、トイレトレーニングのつまずきなど様々な原因で起こります。少ないながら、先天的な腸の病気やホルモンの異常などが原因のこともあります。



* こどもの便秘の治療は？

大きな便の塊がたまっている場合は、まずそれを取り除きます。その後、便をやわらかくするお薬を中心とした内服治療や、浣腸などの処置を継続して行います。あわせて食事内容や生活習慣の見直しも行い、徐々に排便のリズムを整えていきます。

非常に頑固な便秘で、治療に時間がかかることもあります。発達や心理的な問題が関与している場合には臨床心理士によるカウンセリング療法も行っております。

先天的な腸の病気が原因の場合は手術が必要なこともあります。その他、小児科を含めた他科との連携が必要な場合もあります。

便秘のお子様はすでに痛みや恥ずかしさなどで排便に対しつらい思いを抱えていらっしゃると思いますので、当科では、できるだけ負担の少ない形で、それぞれのお子様にあった治療を進めていきます。排便のことでお悩みの方は一度ご相談ください。